

14. 21-583



1200501162635

21

583

業務成績報告書

高知縣種畜場長因分場編

昭和六年度



始



142  
58

昭和六年度

業務成績報告書

高知縣種畜場長岡分場

14-21-583

# 昭和六年度業務成績報告書

## 第一章 總 說

### 一、沿 革

明治三十五年高知縣立農事試驗場八家禽改良普及ヲ圖ル爲名古屋種一雄二雌ヲ購入飼養シ其種卵ノ配付ヲ開始シタルガ續テ明治三十七年九月種豚ヨトクシヤーパークシヤール谷頭ノ三種ノ飼育ヲ始メ同三十八年ヨリ四十四年マデ仔豚ノ配付ヲ行ヒ來レリ是本縣ニ於ケル種豚改良普及事業ノ嚆矢トス

其後多少事業ニ變遷アリシモ明治四十四年ヨリハ卵卵器ニ依ル家禽ノ孵化育雛ヲ行ヒ一層汎ク種禽ノ配付ヲ爲シ來リシガ大正十年度ニハ卵卵育雛室同十一年度ニハ種禽舍中雛舍ヲ改築シテ農事試驗場家禽部事業ヲ擴張シ白色レグホーン横班ブリマスロツケ土佐九斤ノ三種ノ普及獎勵ニ努メツ、アリタリ然ルニ近年農家ノ副業トシテ斯業ノ發展著シキモノアリテ到底從來ノ規模ヲ以テシテハ充分ナル成績ヲ舉ケルコト困難トナリシヲ以テ大正十二年通常縣會ニ於テ新ニ高知縣種畜場設立ノ件附議可決セラレ大正十三年四月一日農事試驗場ノ一部ヲ劃シ本場ノ設置ヲ見タリ而シテ同年四月場長以下職員任命セラレ新ニ事務室飼料室豚舍ヲ建設シ卵卵育雛室種禽舍中雛舍ハ學事試驗場ヨリ保管種換セラレタリ

次テ大正十四年五月十二日高知縣種畜場ハ高岡郡東又村ニ移轉シ右ト同時ニ長岡郡長岡村ノ舊位置ニ新ニ高知縣種畜場長岡分場ヲ設置セラレタリ、然ルニ同年秋高知鐵道ガ省線後免驛ニ至ルノ連絡線路ヲ建設スルニ當リ種畜場敷地ノ一部ヲ通過スルコト、ナリ移轉ノ止ムナキニ至リ大正十五年一月其ノ工ヲ起シ同年三月現在ノ縣道ニ沿ヒタル農事試驗場ノ南部ニ移轉ヲ了シ以テ今日ニ至レリ

### 二、位置並ニ用地

本場ハ高知市ノ東ニ距ル約三里省線後免驛ノ東約二丁ニシテ長岡郡長岡村大字東崎地内ニアリ縣立農事試驗場ト隣接シ其ノ用地六百



三、營 造 物

營造物中ノ主ナルモノ、種別棟數坪數ハ左ノ如シ

種 別	棟 數	坪 數		摘 要
		室 内	室 外	
事 務 室	一	八	〇	木造セメント瓦葺
宿 直 室	一	三	〇	木造セメント瓦葺
牧 夫 所	一	二	〇	木造セメント瓦葺
便 所	一	四	〇	木造セメント瓦葺
幼 雛 室	一	六	〇	木造セメント瓦葺
中 雛 室	一	四	〇	木造セメント瓦葺
種 雛 舍	一	四	〇	全 全
全 飼 料 舍	一	六	〇	木造トタン葺
全 飼 料 庫	一	三	〇	木造トタン葺
飼 料 調 理 場	一	四	〇	舊豚舎改造
倉 庫	一	三	〇	木造セメント瓦
堆 肥 舍	一	六	〇	木造セメント瓦
總 計		六	〇	總コンクリート造

サ  
イ  
ロ  
一個

第二章 事 業

一、家 禽

本縣ニ於ケル養鶏業ハ農業ノ主要副業ノ一ニシテ近時卵肉ノ需要著シク増加シ殊ニ本縣ハ阪神地方ニ於ケル生鶏卵ノ需要ニ對スル重要ナル供給地ニシテ之レガ改良増殖ヲ圖ルハ農村振興ノ一助タルベキヲ以テ當場ニ優良種鶏ノ蕃殖飼育ヲ行ヒ種鶏種雛種卵ヲ縣下希望者ニ拂下其數本年度ニ於テ種鶏雛三、九九七羽種卵二、五一七個ニ達シ斯業ノ發達ニ資スルモノアリタリ

二、種 禽 種 雛 ノ 購 入

種 類	羽 數		計	購 入 先
	雌	雄		
白色レグホーン	六	一	七	愛知縣小柳津種禽場
全	五	二	七	全 榎本種禽場
全	三	六	九	農林省播磨種鶏場
全	五	六	一一	全
ロードアイランドレッド	三	五	八	
計	一七	一六	三三	

備考 農林省播磨種鶏場ヨリハ種雛ヲ拂受タリ





一、競技會參加養鶏組合

長岡郡野田組合 長岡郡介良組合  
高岡郡日下組合 高岡郡宇佐組合

二、施行年月日

自昭和六年一月一日 至全 四月十日

三、品 種

白色レグホーン

四、競技配付當時ノ状態

種卵ノ厳選ト孵化ニ最善ノ注意ヲ拂ヒタル爲優秀ナル雛ヲ孵化シ各組合ニ對シ抽籤ヲ以テ交付セリ  
當日引渡ノ雛ノ餌付前ノ体重次ノ如シ

組 合 名	交 付 羽 數	雛 總 重 量	一 羽 平 均 重 量	擔 當 人 氏 名
野 田 村	五〇	四七二 <small>匁</small>	九、四 <small>匁</small>	武 田 重 壽
介 良 村	五〇	四七五	九、五	竹 内 熊 次
日 下 村	五〇	四八〇	九、六	松 岡 春 吉
宇 佐 町	五〇	四七五	九、五	森 岡 友 吉

五、飼養管理ノ概要

飼養管理ニ於テハ大体當場ニテ指示シタル方法ニ依リシト雖モ其ノ異ナル点ヲ評記スレバ次ノ如シ

(イ) 育 雛 箱

野田村ハ石油ヲ溫源ノ育雛箱ヲ使用シ約三十日間給溫シ二十日内外ニテ雌雄ヲ分離飼育セリ、介良、日下、宇佐ノ三ヶ所ハ木箱ノ一部ニ木炭又ハ炭團ヲ溫源トスル暖房ヲ裝置シテ三十日内外給溫シ二十日目頃ニ雌雄ヲ分離飼育セリ

(ロ) 飼 料

飼料ハ其地方ニ於ケル廢棄物ノ利用ニ注意シテ生産費ノ低減ニ努メ野田日下ハ粉飼ヲ用ヒ介良宇佐ハ練飼ヲ使用セリ之ガ配合割ハ概略次ノ如シ

米糠 二〇 玉蜀黍 二〇 麩 二〇 屑米粉 二〇 大豆粕 一〇  
魚粉 一〇 其他土砂、貝殻、木炭末ヲ適宜給與ス

(ハ) 管 理

管理ハ溫情ヲ旨トシ常ニ雛ニ安心ト快感ヲ與フルニ努メ切藁又ハ糶殻ヲ毎日敷キ替ヘ育雛箱並ニ舍内ノ清潔乾燥ヲ計リ五十日目頃ヨリ舍外運動ヲ行ヒ日光ニ浴セシメタリ

六、成 績

組合名	三十日目(二月一日)		六十日目(三月一日)		九十日目(四月一日)		百日目(四月十日)	
	現在羽數	一羽平均重量	現在羽數	一羽平均重量	現在羽數	一羽平均重量	現在羽數	一羽平均重量
野田村	二六	二〇	二六	二〇	二六	二〇	二六	二〇
介良村	二七	二〇	二七	二〇	二七	二〇	二七	二〇
合計	五三	二〇	五三	二〇	五三	二〇	五三	二〇





種別	前年ヨリノ繰越	購入受	計	拂	差引残
麩	二〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	二,二七〇	一,六〇〇	二〇,〇〇〇
米	四,〇〇〇	五,一〇〇	五,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇
玉蜀黍	三〇,〇〇〇	一,三〇〇	一,一五〇	一,三〇〇	二五,〇〇〇
大豆	四〇,〇〇〇	一,三〇〇	一,一五〇	一,三〇〇	三九,〇〇〇
小豆	一〇,〇〇〇	一,〇〇〇	九,八〇〇	一,〇〇〇	二,〇〇〇
大麥	四〇,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	三九,〇〇〇
小麥	一〇,〇〇〇	八,八〇〇	九,八〇〇	七,七〇〇	二,〇〇〇
屑麥	二〇,〇〇〇	三,三〇〇	三,三〇〇	三,二〇〇	一,〇〇〇
裸麥	二〇,〇〇〇	二,五〇〇	二,二七〇	九,四〇〇	二,〇〇〇
枇	四〇,〇〇〇	七,〇〇〇	八,〇〇〇	七,七〇〇	三,〇〇〇
計	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	一三三,〇〇〇	六七,〇〇〇

二、六年度購入飼料

種畜場長岡分場費	給料	諸雇給	雜給	備品費	消耗品費
七,四七九	二,八〇〇	八四〇	七三五	一七六	二〇〇
通信運搬費	圖書印刷費	飼料費	種禽講入費	建物修繕費	雜費
一八七	四五	一,五五四	五四二	二二一	一七九

郡市	白色レダホーン	横班プリマスロ	ドロッドアイラン	土佐九斤	合計
高知市	二〇	〇	〇	〇	二〇
安藝郡	三二	〇	〇	〇	三二
香美郡	八〇	〇	〇	〇	八〇
長岡郡	八二	〇	〇	〇	八二
土佐郡	三〇	〇	〇	〇	三〇
吾川郡	九	〇	〇	〇	九
高岡郡	七	〇	〇	〇	七
幡豆郡	四	〇	〇	〇	四
合計	三、六四	一五	一七	四	三、九七

科目	豫算額	科目	豫算額
昭和六年度歳出經常部豫算		備考 外ニ場用種禽候補鶏二七〇羽廢鶏トシテ賣却セルモノ一五二羽	
第三章 事務		一、經費	
科目	豫算額	科目	豫算額

魚	20,000 匁	25,000 匁	30,000 匁	35,000 匁	40,000 匁
大	10,000 匁	15,000 匁	20,000 匁	25,000 匁	30,000 匁
貝	4,000 匁	5,000 匁	6,000 匁	7,000 匁	8,000 匁
粉	10,000 匁	12,000 匁	14,000 匁	16,000 匁	18,000 匁
麥	10,000 匁	12,000 匁	14,000 匁	16,000 匁	18,000 匁
殼	10,000 匁	12,000 匁	14,000 匁	16,000 匁	18,000 匁

右ノ外青菜二千六百匁ヲ栽培使用セリ

三、職員及雇員

(昭和七年三月末日現在)

任命年月日	職名	氏名	備考
昭和五年二月二十一日	場長技師	立川義夫	兼務
昭和二年十一月一日	技師	山方與一郎	兼務
大正十三年三月三十一日	勸業技師	西山幾馬	
昭和五年二月二十一日	主事	沼山一龜	
大正十三年四月一日	牧主	吉川儀太郎	兼務

四、職員出張

業務	回数	日数	備考
家禽品評會審査	27		43

計	一九四二	一九四三
家禽ニ關スル調査並ニ視察	19	42
畜産ニ關スル協議會列席	4	4
家禽ニ關スル協議會列席	33	36
講習講話用務	22	14
講習講話用務	12	14
養鶏指導用務	10	19
計	104	158

五、文書取扱件數

收受 501件  
發送 73件

六、參觀人員

五、八七六名

七、印刷物ノ配付

昭和五年度業務報告 300部  
良鶏ト飼料配合ニ就テ 500部

六年度氣象

月別	天		曇氣		午前十時溫度	最高溫度	最低溫度	降水量
	晴	曇	曇	氣				
四月	六	二	二	九	二四、九	二六、二	一三、一	五、六
五月	四	二	二	九	二四、九	二六、二	一三、一	五、六
六月	六	二	二	九	二六、六	二八、八	一三、一	五、六
七月	七	五	二	九	二六、八	二八、二	一三、一	五、六
八月	八	七	四	九	二六、八	二八、二	一三、一	五、六
九月	八	七	四	九	二六、八	二八、二	一三、一	五、六
十月	八	八	四	九	二六、八	二八、二	一三、一	五、六
十一月	八	八	四	九	二六、八	二八、二	一三、一	五、六
十二月	三	三	一	九	二〇、七	二四、八	一四、三	二
合計	一九	八	二	二	一八、一	二二、三	一五、五	二七、五

晩霜 四月十三日  
初霜 十一月十一日

附 録

高知縣種畜場分場處務規程

- 第一條 高知縣種畜場分場ハ畜産ノ改良發達ヲ圖ルタメ左ノ業務ヲ行フ
  - 一、種畜種禽ノ蕃殖並育成
  - 二、種畜ノ配付並種付
  - 三、種畜及種卵ノ配付
  - 四、畜産ニ關スル講習、講話、實地指導、傳習及質問應答
  - 五、畜産ニ關スル試験調査
  - 六、其ノ他畜産ノ改良發達ニ必要ナル事項
- 第二條 種畜分場ニ左ノ職員ヲ置ク
  - 分 場 長
  - 技 師
  - 技 手
  - 主 事 補
- 第三條 分場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四條 分場長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ統理ス
- 第五條 技師及技手ハ分場長ノ指揮ヲ承ケ場職ニ従事ス
- 第六條 主事補ハ分場長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 分場長事故アルトキハ上席職員其ノ職務ヲ代理ス

第八條 左ノ事項ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

- 一、毎年度施行スヘキ事業計劃
- 二、諸規程ノ制定若ハ改廢
- 三、右ノ外重要若ハ異例ニ屬ス事項

第九條 左ノ事項ハ分場長ニ委任シ處理セシム但第一號及第五號ノ事項ハ處理後直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ

- 一、所屬職員ノ事務分掌
- 二、分場長七日以内ノ縣内出張
- 三、所屬職員ノ縣内出張
- 四、所屬職員ノ除服出仕及賜暇
- 五、雇員以下ノ採用及其ノ罷免
- 六、豫算令達ノ範圍内ニ於ケル工事ノ執行物品ノ購入借入但シ建物ノ模様替ハ豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 七、生産物及不用品ノ處分
- 八、經費豫算中節ノ金額五拾圓未満ノ流用
- 九、前各號ノ外輕易ナル事項

第十條 分場長ハ左ノ各號中第一號ハ年度終了後一ヶ月以内ニ第二號ハ其ノ都度知事ニ報告スヘシ

- 一、毎年度ノ業務功程
- 二、試験及調査報告書ノ發行

第十一條 分場長ハ處分細則ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受クヘシ

### 高知縣種畜分場、種鶏、種雛、種卵拂下規程

(昭和六年五月七日改正)

第一條 本縣内ニ於テ鶏ノ改良蕃殖ヲ目的トスルモノニ對シ本規定ニ依リ種鶏、種雛及ヒ種卵ノ拂下ヲ行フ

第二條 拂下ニ行フ種鶏種雛及種卵ノ種類年齢數量並價格左ノ如シ

種別	種 類		種 雛		種 卵	
	年 齡	一 回 ノ 數	年 齡	一 回 ノ 數	一 回 ノ 數 量	價 格
白色レグホーン	孵化後百日内外	一番以上	孵化後十日内外	十羽以上	拾五錢以上	十個以上
黄斑プリマウスロツク	全	全	全	全	全	全
ロードアイランドレツト	全	全	全	全	全	全
土佐	全	全	全	全	全	全
九斤	全	全	全	全	全	全

第三條 種鶏種雛及種卵ノ拂下一人一回ニ付二種類以内トス

學校、農會、養鶏組合其ノ他公益ヲ目的トスル者ニ對シテハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第四條 種鶏種雛又ハ種卵ノ拂下ヲ受ケムトスル者ハ別記様式ノ願書ヲ種畜分場長ニ差出スヘシ

第五條 種畜分場長拂下ヲ許可シタルトキハ拂下クヘキ種鶏種雛又ハ種卵ノ種類、數量、價格及引渡期限ヲ出願者ニ通知スルモノトス

第六條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ代金ヲ納入シ現品ノ引渡ヲ受クヘシ

第七條 第四條ノ出願者ニシテ六ヶ月以内ニ第五條ノ通知ヲ受ケサルモノハ其ノ出願ノ効力ヲ失フモノトス

第八條 拂受人指定ノ期限迄ニ引渡ヲ受ケサルトキハ拂下ノ効力ヲ失フモノトス

前項ノ場合ニ於テハ既ニ納付シタル代金ハ之ヲ返還セサルコトアルヘシ

第九條 拂受人ハ現品ノ引渡ヲ受ケタル後ニ於テ疾病斃死又ハ損傷等ヲ事由トシテ拂下代金ノ減額免除又ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十條 拂下クヘキ種鶏種雛又ハ種卵ニシテ斃死疾病其ノ他ノ事由ニ因リ引渡ヲ爲スコト能ハサルニ至リタル場合ハ既ニ納付シタル代金ハ拂受人ノ請求ニ依リ之ヲ返還ス拂受人ハ前項引渡不能ニ因ル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十一條 本規程ニ依リ拂下ヲ受ケタル種鶏又ハ種雛ハ滿一ケ年間飼養スル義務アルモノトス  
但シ特別ノ事由ニ依リ前項ノ期間内ニ於テ他ニ賣却若ハ讓渡セムトスル場合ハ其ノ事由ヲ具シ種畜場分場長ノ承認ヲ受クヘシ

第十二條 拂受人ハ其ノ種鶏種雛及種卵ノ孵化蕃殖發育狀況及飼育管理ニ關スル諮問ニ對シ速ニ答申スヘシ

様式

種 鶏 (種雛、種卵) 拂 下 願

一、種鶏何種(雌雄、種雛)何種何羽又ハ種卵何種何個

右拂下規程ヲ遵守可致候間御拂下相成度此段及御願候也

年 月 日

何々養鶏組合又ハ住所

職 業 氏 名 印

高知縣種畜場長岡分場長殿

### 長尾鶏保存獎勵規程

第一條 長尾鶏保存獎勵ノ爲毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ本縣開設特種家禽品評會ニ於テ入賞セル長尾鶏中ヨリ選抜シテ之ヲ交付ス

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル長尾鶏ノ所有者ハ知事ノ認可ヲ受クルニアラサレハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ一ケ年間長尾鶏ヲ賣却スルコトヲ得ス

第四條 前條ノ期間中ニ於テ其長尾鶏斃死シタルトキハ直チニ本廳ニ届出ツヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル長尾鶏ヲ第三條ニ依ル期間内ニ縣外ニ賣却シ又ハ飼養管理ノ方法不適當ト認ムルトキハ既ニ交付シタル獎勵金ノ一部或ハ全部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

附 則

第六條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 土佐長尾鶏組合獎勵規程

第一條 土佐長尾鶏ノ改良増殖保存ヲ目的トスル組合ノ設置並ニ既設組合ノ發達ヲ獎勵スル爲本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ土佐長尾鶏飼育者十名以上ヲ以テ組織スル組合ニシテ左ノ各號ニ該當セル組合ヲ新設スル場合又ハ既設組合ニ對シ之ヲ交付ス

一、一人當リ飼育羽數成鶏二番以上ナルコト

二、一組合三羽以上ノ白藤、白色、褐色ノ各雄鶏ヲ保育スルコト

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ申請書ニ左ノ各號ノ書類ヲ添付シ前年度三月末日迄ニ知事ニ差出スヘシ

一、飼育方針ノ概要

二、事業計畫

三、組合員並役職員ノ氏名

四、經費豫算書

第四條 獎勵金ハ事業費ノ支出ニ對シ二分ノ一以内トシ事業成績調査ノ上之ヲ定ム

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル組合ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、第三條各號ノ書類ニ記載セル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ承認ヲ受クヘシ

二、組合員ニシテ成鶏ヲ組合員外ニ讓渡セムトスルトキハ豫メ知事ノ承認ヲ受クヘシ

三、毎事業年度終了後一ヶ月以内ニ經費精算書並事業成績ヲ知事ニ報告スヘシ

四、前各號ノ外知事ニ於テ特ニ必要ト認メ指示スル事項

第六條 本規程ニ違背シ其ノ他不都合アリト認ムルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ若ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 本規程ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所在市町村役場ヲ經由スヘシ

附 則

第八條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 本規程第三條ニ依ル申請書提出期日ハ昭和五年度ニ限り昭和六年三月二十日迄トス

14.24  
583

142  
583

終